


発表者のご紹介 欄

発表カテゴリ	ワークショップ I
演者	<p>片山 高嶺 京都大学大学院生命科学研究科統合生命科学専攻 教授</p> 
演題	母乳栄養児の腸管におけるビフィズスフローラ形成機構とその意義
内容	<p>母乳栄養児の腸管においては、ビフィズス菌が優勢な腸内菌叢が形成されることが古くから知られていたが、そのメカニズムは不明であった。我々は、ビフィズス菌が母乳に3番目に多く含まれるオリゴ糖（ヒトミルクオリゴ糖）の資化経路を有していることを見出し、その経路上の酵素を解析すると共に、乳児糞便サンプルを解析することで、ビフィズスフローラ形成の分子基盤を解明した。本講演ではこれらの研究について簡単に紹介すると共に、最近、我々が開発しているアピカル嫌気培養装置について紹介する。上皮細胞と腸内細菌の共生メカニズムが <i>in vitro</i> で解析できるようになるかも知れない。</p>
演者のプロフィール	<p>1994年 京都大学農学部食品工学科 卒業  1999年 京都大学大学院農学研究科食品工学専攻 博士課程修了  1999年 京都大学大学院農学研究科 リサーチアソシエイト  2002年 京都大学大学院生命科学研究科 助手  2005年 石川県立大学生物資源工学研究所 講師  2008年 石川県立大学生物資源工学研究所 准教授  2013年 石川県立大学腸内細菌共生機構学講座（寄付講座） 教授  2015年 京都大学大学院生命科学研究科統合生命科学専攻 教授</p>